兵庫きのこ研究会 修法が原定点観察会 2017.07.16

空梅雨だったので心配していましたが、10日前のまとまった雨とその後の晴天のおかげか、 形の崩れていないきれいな大型菌や珍菌がたくさん観られ、種数も100種越えで、7月ならではの充実した観察会となりました。 私達も1年ぶりの参加でしたが、他に神奈川と大阪から名の知れたきのこ少年が2名参加で、たのしく観察する事が出来ました。

大阪Mくん感想

「久しぶりにきのこ仲間と会って話すことができ楽しい時間を過ごせました。珍菌にも出会えたことも感激です。ありがとうございました。」

神奈川Yくん感想

「今回定点観察に参加させていただくのは3回目でしたが、ヒイロチャヒラタケやリュウコクヒナベニタケなど 今まで見たことがなかった珍菌にいくつも出会うことができました。他にも大型の夏のきのこがたくさん見れてとても楽しかったです。」

定点初観察!/ヒイロチャヒラタケ(Yくん撮影)



こちらも初観察 傘径1mm/ リュウコクヒナベニタケ(仮称) (Yくん撮影)



イグチの名残…/ネズミツチダマタケ



修法が原名物珍菌/ニカワラッシタケ



恒例となりつつあります珍菌/ アイゾメイグチ



アイゾメイグチ



これでもイグチの仲間/キヒダタケ近縁種





(表紙写真撮影中)



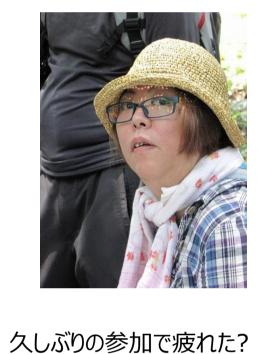
久しぶりのWくんもがんばる



唯一の虫草/クモタケ(Mくん撮影)



コウモリタケ (Mくん撮影)





ウコンクサハツ

(同定されたきのこ一覧は2/3に載せています)





ヒイロチャヒラタケ Crepidotus cinnabarinus Peck 同定/和田(匠)

【同定されたきのこの解説】

本種の主な特徴は、全体が鮮やかな朱紅色で、しだいに退色して汚白色になる貝殻型の子実体を形成し、傘表面は全 体に小鱗片状、ひだの縁部は濃紅色に縁どられること、楕円形で褐色の担子胞子を形成し、狭紡錘形の縁シスチジアを密

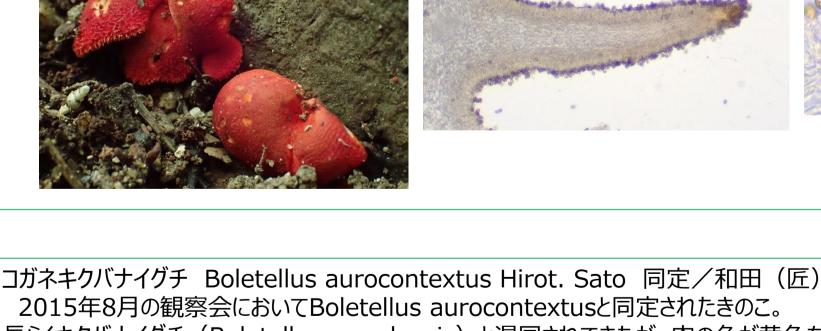
生させることである。

定点観察会初記録。中が空洞化した広葉樹の切り株に子実体を群生させていた。

本標本は上記の形態的特徴などから、ヒイロチャヒラタケにほぼ一致していた。しかしながら、山下光氏の顕微鏡観察による と、胞子のサイズが原色日本真菌類図鑑の記載に比べると、胞子の大きさがやや小さく、胞子の表面の疣が明確に連絡して いる点で、相違が見られた。なお、検証きのこ図鑑の記載の胞子の大きさとはほぼ一致していた。以上のようにヒイロチャヒラタ ケと同定するには疑問が残るが、今回は暫定的に本種とした。

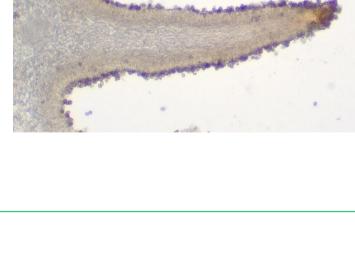
本種は、全国でも散発的にしか採集されていない稀種であるため、今後継続的に観察していく必要があると考えられる。





ができる。

することができる。





長らくキクバナイグチ(Boletellus emodensis)と混同されてきたが、肉の色が黄色を帯びることから、容易に区別すること

写真提供: Y くん

ヒビワレキクバナイグチ Boletellus areolatus Hirot. Sato 同定/和田(匠) 定点観察会初記録。長らくキクバナイグチと混同されてきた種で、恐らく過去の定点観察会においてキクバナイグチと混同さ れいたと思われる。柄の上半分が淡色~淡クリーム色である点などから、肉眼的にキクバナイグチ、コガネキクバナイグチと区別

リュウコクヒナベニタケ(小寺仮称)Russula sp. 同定/和田(匠)

定点観察会初記録。アカマツの倒木やその周囲の地上などに子実体を散発させていた。主な肉眼的特徴は、傘径5mm ~10mmで、傘柄ともに橙赤色で、柄は半透明、ヒダは白色~淡黄色であることなどである。

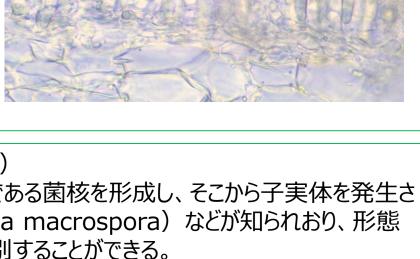
一見してヌメリガサ科(Hygrophoracea)を連想させるが、球形細胞が確認されることや、偽アミロイドに染まる担子胞 子を形成することから、容易に区別することができる。

なお、本種が記載されている文献は確認されないが、極めて類似した種が、インターネット上で広くこの仮称和名が用いられ



ているため、暫定的にその仮称を用いて同定した





定点観察会初記録。ナラタケ属(Armillaria)に寄生し、それとの混合体である菌核を形成し、そこから子実体を発生さ せることが大きな特徴である。同属では国内からはオオミノミミブサタケ(Wynnea macrospora)などが知られおり、形態 も生態も類似しているが、子嚢胞子の大きさが倍近くになることから、容易に区別することができる。 本種は比較的稀種であるといわれることから、今後の経過観察していく必要がある。 兵庫県版RDB/要注目種。

文章:和田(貴)

付箋記入:和田(匠)、山下、森 リスト作成:中川、和田(匠)、難波 写真提供:和田(貴)、和田(匠)、森、山下、山上、中川、山本 写真編集:中川湧

HP作成: 奥田